

音楽科学習指導案

日時 平成 18 年 11 月 15 日(水) 5 校時
学級 3 年 2 組(男 20 名女 16 名 計 36 名)
授業場所 第 2 音楽室
授業者 盛島 浩子

1 題材名 音楽の諸要素と曲想とのつながり
教材名「Hey Jude (ヘイ・ジュード)」(J.レノ P.マッカートニ-作詞作曲)

2 題材について

(1) 題材観

音楽科学習指導要領によると、「音楽活動の基礎的な能力」とは、『生涯にわたって楽しく充実した音楽活動ができるための、基になる能力を意味する。それは、音楽を形作っている諸要素を感受する能力である。』とある。本校の研究主題とのかかわりから、音楽活動の基礎的な能力を身につけることで、学習に対する基盤が確立され意欲的に音楽活動を楽しむことができる生徒の育成ができるのではないかと考える。また、本題材は、第 2 学年及び第 3 学年 2 内容、B 鑑賞の(1)ア「声や楽器の音色、リズム、旋律、和声を含む音と音のかかわり合い、形式などの働きとそれらによって生み出される曲想とのかかわりを理解して、楽曲全体を味わって聴くこと。」エ「音楽をその背景となる文化・歴史や他の芸術とのかかわりなどから、総合的に理解して聴くこと。」にかかわる学習を中心に設定した。

本題材では、ビートルズの音楽に親しみながら、ポピュラー音楽におけるリズムと歌詞との密接なかわりや曲想及び楽曲を特徴付けている要素を感じ取り、幅広い鑑賞の力を身につけ、新たな音楽に取り組む意欲と能力を養っていきたいと考える。

(2) 生徒観

本学級は、男女共に明るく音楽の授業に意欲的に取り組む学級である。また、先日の校内合唱コンクールに向けての合唱練習では、各パートリーダーが中心となって熱心に合唱に取り組み、本番では男女のバランスがとれた美しいハーモニーを聴かせてくれた。3 年生ともなると歌詞の解釈について、さまざまな角度から深く掘り下げて描写や意味を考え、味わうことができるようになる。しかし、パートリーダーの指導や生徒同士の話し合いを見ると、旋律線や強弱記号等に注意して歌いたいという気持ちを感じられるものの、曲想の工夫やイメージの表現となると、その根拠となる構成要素の知覚が不十分であるために、リーダーの意図が他の生徒に伝わりにくく、指導に行き詰まる場面や表現の深まりに欠ける面も見られる。そのような実態から、さらに生徒一人ひとりの音楽的な能力を伸ばすことが必要であると感じた。

ポピュラー音楽は、1 学期に「カントリーロード」を原語での二部合唱として扱っている。また、校内合唱コンクールでは「ジェリコの戦い」を原語で合唱している。

1, 楽譜を読むことが得意か・・・得意(男 16%女 50%全 35%) 苦手(男 83%女 50%全 64%)

2, 旋律線を見ながら歌っているか・・・歌っている(男 55%女 62%全 58%) <2006,10 月実施アンケートより>

(3) 指導観

本題材では、ポピュラー音楽に親しみ、原語歌詞で歌うことを通して、歌詞の持つリズムやアクセントがメロディーと一体となって独特なシンクペーションが生まれていることに気付かせたい。また、ソロやコーラス、伴奏に使われる楽器などの楽曲の構成に気付かせ、旋律、リズム、和声を含む音と音とのかかわり合いや形式などの働きを知覚し、音楽の諸要素の働きと効果、音楽の特徴などを総合的に理解させたいと考えている。

そのための手立てとして、歌詞を【音読】して言葉とリズム、抑揚のかかわりを意識させ、部分的に曲を聴いて曲のつくりと歌詞の内容とのかかわりから感じ取ったことを図形楽譜に表す【反復・ドリル学習】を授業の中に位置づけて指導にあたりたいと考える。さらに、生徒一人ひとりが感じ取り、知覚したことを【転写法】で文章化させる活動を通して、表現を工夫する力を伸ばしたいと考える。

3 題材の指導目標及び評価計画

(1) 題材の指導目標

- ・音楽の諸要素の働きと効果、音楽の特徴などに関心をもち、意欲的に聴く。
- ・音楽の諸要素の働きを知覚し、音楽の特徴などを総合的に感じ取る。
- ・音楽の諸要素の働きと効果、音楽の特徴などを総合的に理解し、味わって聴く。

(2) 指導計画と評価計画

| | 指導内容 | 観点別評価規準 | | |
|--------|--|--|---|---|
| | | 音楽への関心・意欲・態度 | 音楽的な感受・表現の工夫 | 鑑賞の能力 |
| 本 時 | 声や楽器の音色、曲の つくり、歌詞の内容 曲のつくりと歌詞の 内容とのかかわり | 声や楽器の音色、曲のつ くり、歌詞の内容に関心をも っている。 | 曲のつくりと歌詞の内容と のかかわりを感じ取り、図形 楽譜に表すことができる。 | |
| | 旋律、リズム、音と 音との関わり合い、 形式などの働きと効果 背景となる文化や生 活、影響 諸要素の働きと効果、 音楽の特徴 | 旋律、リズム、音と音と の関わり合い、形式などの 働きと効果に関心をもっ ている。 背景となる文化や生活、 影響、諸要素の働きと効果、 音楽の特徴などに関心をも ち、意欲的に聴いている。 | 旋律、リズム、音と音との 関わり合い、形式などの働き を知覚している。 背景となる文化や生活、影 響、諸要素の働きと効果、音 楽の特徴を総合的に感じ取っ ている。 | 諸要素の働きと効果、 音楽の特徴等を総合的に 理解し、楽曲を味わって 聴き取っている。(批評文) |

4 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・曲を聴いて感じ取ったことを図形楽譜に表すことができる。

(2) 本時の評価規準

| 評価の観点 | 評価規準 | 具体的評価規準 | | C 努力を要する生徒 への指導の手だて | 評価場面 (方法) |
|--------------|---|---------------------------------|--|--|--------------|
| | | A 十分満足できる | B 概ね満足できる | | |
| 関心・意欲 ・態度 | 声や楽器の音色、 曲のつくり、歌 詞の内容に関心 をもっている。 | 主体的、意欲的 に参加しているこ とが見て取れる。 | 歌詞の音読、声や楽器の 音色、曲のつくり、歌詞の 内容についての話し合いに 参加している。 | 音読の速度を遅 めに提示し、全員 がそろって音読で きるよう配慮する。 | ・音読 ・観察 |
| 感受・工夫 | 曲のつくりと歌 詞の内容とのか かわりを感じ取 っていることが 記述してある。 | 十分に感じ取っ ていることが読み とれる。 | 図形楽譜に曲のつくりと 歌詞の内容とのかかわりを 感じ取っていることが記述 してある。 | 教師が範例を示 し、模倣して図形 楽譜を描くように させる。 | ・ワーク シート |

(3) 研究内容との関わり

ア 本時の基礎・基本

- ・原語詞を音読し、言葉の抑揚やアクセントを感じ取る。[音楽への関心・意欲・態度]
- ・歌詞の内容を理解する。[音楽への関心・意欲・態度]
- ・曲を聴いて感じ取ったことを、図形楽譜に描く。[音楽的な感受・表現の工夫]

イ 定着を図る指導の工夫

- ・【音読】原語詞と日本語詞の音読をする。
- ・【反復・ドリル学習】曲を聴いて図形楽譜を描く。
- ・【転写法】曲のつくりについてわかったことを文章で書く。

ウ 動機付けの工夫

- ・導入でビートルズの演奏による「Hey jude」を聴かせる際に、鑑賞の視点を提示する。

【興味・関心】

(4) 展開

| 段階 | 学習内容・学習活動 | 指導及び支援の手だて 指導の留意点 支援 | 評価 * 具体の評価規準(評価場面) | 研究内容との関わり |
|------------------------------|--|--|---|----------------------|
| 導入 10分 | 1 「Hey jude」を聴く | 事前に歌のソロ、コーラス、伴奏に使われる楽器が、曲の流れの中でどのように変化していくかに着目して聴くよう指示をする。 | | 動機付けの工夫 |
| | 2 ビートルズについて 3 本時の課題確認 | ・ビートルズについて簡潔に説明する。 教科書 p 24,25 | | |
| 声や楽器の音色、曲のつくり、歌詞の内容を意識して聴こう。 | | | | |
| 展開 30分 | 4 曲のつくりと歌詞の内容とのかかわり ・「Hey jude」を音読し、歌詞の内容を理解する。 | 原語詞と日本語詞を1回ずつ音読させる。 ・歌詞の内容がわかりやすいように、原語詞と日本語詞を男女で分担して読ませる。 | 【関心・意欲・態度】 A 主体的、意欲的に参加していることが見て取れる。 B 歌詞の音読、声や楽器の音色、曲のつくり、歌詞の内容についての話し合いに参加している。 | 【有能感】 音読 基礎・基本 |
| | ・曲のつくりと歌詞とのかかわりを意識して全曲を鑑賞する。 | 図形楽譜の範例を提示し、部分的に区切って演奏を聴かせ、感じ取ったことをワークシートに書かせる。 1番の歌詞について範例を紙板書で示すが、自由に記述してもよいということを強調する。 | 【感受・工夫】 A 十分に感じ取っていることが読みとれる。 B 図形楽譜に曲のつくりと歌詞の内容とのかかわりを感じ取っていることが記述してある。 | 反復・ドリル学習 基礎・基本 |
| 終末 10分 | 5 本時のまとめ 6 自己評価 | 曲のつくりについてわかったことを文章で書かせる。 ・発表する ・自己評価をさせる。 | | 転写法 |